

令和7年度10月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【外国人留学生特別選抜】

言語文化学専攻
日本アジア言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年8月29日（金）

注 意

1. この冊子には、次のとおり、3分野、合計6題の問題が綴じられている。
(総ページ数 — 9 ページ)

A群 (AⅠ～AⅣ)

B

C

試験開始に際しては、まず、上記のとおり全問題があることを確認し、脱落がある場合は、挙手により監督官に申し出ること。

2. 各受験者は、A群のうちからいずれか1題を選び、BおよびCの問題と合わせて解答すること。
 3. 解答に際しては、A・B・Cそれぞれ指定された解答用紙を用いること。
(裏面も使用してよい。)
- なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号及び氏名を記入すること。
4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

A I つぎに挙げるのは、塙書房『補訂版 萬葉集 本文篇』より、卷十九・四一四四番、四一四五番の歌で、「見歸雁歌」と呼ばれる。これらについて後の問に答えよ。なお、設問の都合で振り仮名を省いている箇所がある。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問一 両歌に使われている「音仮名」を全て挙げよ。四一四四番と、四一四五番で分けて、一字ずつ「字(ジ)」のように示すこと。

問二 両歌について、

(a)それぞれの歌を現代語訳せよ。

(b) 作者である大伴家持の境遇を踏まえつつ、この二首をもつてどのようなことが歌われているかを説明せよ。

問三 四一四四番の傍線部について、「思」はこれまで、「オモヒ」と「シノヒ」の二つの訓が提案されてきた。いずれが訓としてふさわしいかを考えるには、どのような調査の手順を踏んでいくべきか、詳細に説明せよ。

問四 内田賢徳氏は、シノフは、問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

であることがオモフとの違いであると指摘する(『上

代日本語表現と訓詁』)。このことと、左に掲げる時代別国語大辞典上代編の記述も参考にしつつ、四一四四番の傍線部の訓として「オモフ」「シノフ」のいずれがふさわしいと考えるか、理由とともに述べよ。

思フとシノフは意味が近いが、思フが思考一般を意味するのに対して、シノフはある対象に惹きつけられる心を示す、という差があるようである。

問五 左の画像は、四一四五番歌の校本万葉集の情報である。傍線部(初句・結句)について、異同を、すべて書き出せ。その際、諸本名は略称は用いず、正確に記すこと。

(時代別国語大辞典【考】より)

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

A II つぎの文章【I】・【II】は『十訓抄』の一節である。【I】は『十訓抄』第三篇の序文、【II】は第三篇収録の第三話である。これらを読んで、後の問に答えよ。

【I】

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

【II】

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(注) ○菅三位——菅原文時。平安時代中期の儒者。道真の孫。 ○物張——洗い張り、裁縫などの雑用に従事した召使い。

問一 【I】の影印部分について翻字せよ。漢字仮名の別や濁点の有無等はもとのままとすること。

問二 傍線部①について、わかりやすく解釈せよ。

問三 傍線部②について、現代語訳せよ。

問四 傍線部③について、「人々」が「笑」った理由を簡潔に説明せよ。

問五 傍線部④について、現代語訳せよ。

問六 傍線部⑤について、「人々」が「恥」じた理由を詳細に説明せよ。

問七 傍線部⑥について、「これ」の指示内容を明らかにした上で、わかりやすく解釈せよ。

問八 『十訓抄』について知るところを述べよ。

A III つぎに掲げる文章一、文章二は、それぞれ、河東碧梧桐「疑問」（『俳諧漫話』一九〇三年一月）、高浜虚子「写生趣味と空想趣味」（『ホトギス』一九〇四年三月、『俳諧馬の糞』一九〇六年一月 所収）である。文章一と文章二を読んで、後の問に答えよ。なお、印刷不鮮明箇所は、出典の伏態によるものである。

文章一

問一 ↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

文章二

問二 ↓

問三 ↓

問四 ↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問六
↓

問五
↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

- 問一 傍線部1「木の實を植うといふ題」における「空想趣味」と「寫生趣味」とは、それぞれどういうことを指しているか、説明せよ。
- 問二 傍線部2について、具体的には、碧梧桐のどのような主張を指しているのか、答えよ。
- 問三 傍線部3について、どのような見方をするようになることか、説明せよ。
- 問四 傍線部4について、それはなぜか、説明せよ。
- 問五 傍線部5について、どういうことか、「春雨」という語と、「春雨其もの」の違いに留意して説明せよ。
- 問六 傍線部6について、「寫生趣味」を虚子はどのように評価しているか、簡潔に説明せよ。
- 問七 高浜虚子について知るところを述べよ。

A IV つぎの□・□の間に、すべて答えよ。

□ つぎの文を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

〔箋注〕

〔一〕李紳追昔遊集卷下真娘墓序：「吳之妓人歌舞有名者，死葬于吳武丘寺前，吳中少年從其志也，墓多花草，以滿其上。嘉興縣前亦有吳妓人蘇小小墓，風雨之夕，或聞其上有歌吹之音。」

〔二〕崇文總目總集類有虎丘寺題真娘墓詩一卷，劉禹錫等三十一人撰。李紳、白居易、劉禹錫、李商隱等皆有題詠。

〔三〕譚銖，一作談銖，吳郡人，會昌元年登進士第。

（唐・范攄撰、唐彥校箋『雲溪友議校箋』による）

〔補注〕○櫛比鱗臻——（櫛や鱗のように）びっしり並んでいるさま。

○貽——贈る。後に残す。

○睹——見る。

問一 傍線部1を現代日本語に訳せ。

問二 傍線部2を書き下せ。

問三 傍線部3の詩について、

（a）「何事世人偏重色，真娘墓上獨題詩」二句の平仄を示せ。平は○、仄は●を用いること。

（b）この詩の押韻字をすべて記せ。

（c）この詩を解釈せよ。

問四 二重傍線部について、「經遊之者」が「息筆」したのはなぜか、この文から分かることを記せ。

（朱德熙《现代汉语语法研究》より）

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

□ つぎの文を読み、後の問に答えよ。

問1 下線部aを日本語に訳せ。

問2 下線部bを、“象这样的论断”の内容を明らかにしたうえで、日本語に訳せ。

問3 下線部cについて、どういうことか、日本語で具体的に説明せよ。

問4 二重下線部について、本文の内容から、どのような見解であると考えられるか、日本語で説明せよ。

B

つぎの事項のうち、いずれか任意の三つを選んで説明せよ。なお、それぞれの解答のはじめに、何番の事項についての解答であるかをかならず明記すること。

- ① 仙覚
- ② 和泉式部
- ③ 西行
- ④ 香川景樹
- ⑤ 『我楽多文庫』（雑誌）
- ⑥ 『キタ・セクスアリス』
- ⑦ 中原中也
- ⑧ 国策文学
- ⑨ 上代特殊仮名遣い
- ⑩ 日本語の清濁
- ⑪ フコト点
- ⑫ 山田孝雄
- ⑬ 屈原
- ⑭ 宮体詩
- ⑮ 陸游
- ⑯ 『水滸伝』
- ⑰ 『太平御覧』
- ⑱ 胡適

C

あなたの研究しようとしているテーマは何か、またそれに対してどのようなアプローチを試みるつもりかを、具体的に論述せよ。